

福島県産



いわき産トマト

いわき市内では昭和40年代から栽培されるようになり、いわき市の温暖で、日照時間が長い気候を活かしたハウス栽培が盛んで、10月から7月にかけて栽培・出荷されています。



トマトは

『世界で一番食べられている野菜』

と言われています。果実の大きさにより、大玉トマト、中玉トマト、ミニトマトの3つに分けられます。

【主な栽培地域】

四倉町大野・大浦、
小川町、平赤井、
小名浜、勿来、錦など

市内で栽培されている主なブランドトマト

▶[サンシャイトマト]

サンシャイトマト出荷協議会で規格を統一し、栽培・出荷。太陽の光がさんさんと降りそそいでいる中、元気に育ったみずみずしく新鮮なトマトをイメージしてネーミングされ、養液栽培で、科学的計測による栽培管理のもとで作られた、酸味と甘みのバランスの取れたトマトです。



▶[親バカトマト]

菊田施設園芸研究会で規格を統一し、栽培・出荷。品種はごほうび。土耕栽培で土作りにこだわり、土に含まれる様々なミネラル分を吸収し、コクのある酸味と甘みのバランスが取れたトマトです。



また、市内では、「フラガール」という品種のミニトマトも栽培されています。そのほか、赤、黄、オレンジ、紫、緑などカラフルな色の様々な品種のミニトマトが栽培され、トマト狩りができる施設や東京ドーム約2個分のアジア最大級の面積を誇るトマトハウスもあります。

ここをcheck!



ヘタがピンと張り、皮にツヤとハリがあり、赤みが均一に広がっている。



ツルツルとして丸みがあって重いものを選ぶ。糖度が高いトマトは、水に浮かべると底に沈みます。



おしりのスジが星形にたくさん長くのびているものはおいしい。

トマト生産者のGAP取得情報 (令和4年12月末現在)

- ▶あかい菜園株式会社……………(JGAP、FGAP) トマト、ミニトマト
- ▶農事組合法人 大野水耕生産組合 ……(JGAP、FGAP) トマト、ミニトマト
- ▶株式会社 JRとまとランドいわきファーム…(JGAP、FGAP) トマト、ミニトマト
- ▶有限会社とまとランドいわき……………(JGAP、FGAP) トマト、ミニトマト
- ▶農事組合法人 菊田の郷 助川農園 ……(FGAP) トマト
- ▶いわき小名浜菜園株式会社……………(ASIA GAP、JGAP) トマト、ミニトマト
- ▶福島県立磐城農業高等学校 ……(JGAP) トマト
- ▶株式会社ネクストファームいわき ……(JGAP、FGAP) トマト、ミニトマト

※GAP (ギャップ) とは、「食品の安全」「環境の保全」「労働の安全」を守るため、農業の進め方にルールを作り、安全安心な農業に取り組むことをいいます。

- ▶ASIA GAP (アジアギャップ) …… 日本発の国際的な認証。
- ▶J GAP (ジェイギャップ) …… 日本のデファクトスタンダード (事実上最も標準的) な認証。
- ▶F GAP (エフギャップ) …… 農林水産省のガイドラインに基づく福島県が定める認証。
※福島県では、放射性物質対策の基準も設けています。

●GAPに関する詳しい情報は、「いわき市公式ホームページ内」

GAP



トマトには様々な栄養が含まれており、その栄養価の高さから、西洋では医者いらずという意味で、「トマトが赤くなると医者が青くなる」ということわざがあります。

真っ赤で鮮やかな色のトマトは、リコピンが豊富で、生活習慣病の原因となる活性酸素を取り除く働きがあるとされています。もちろん、ビタミンなどの栄養分もたっぷり含まれています。

開花(10月上旬~)

ハウス栽培では、蜂の一種であるマルハナバチを使って受粉させます。



収穫(10月~7月中旬)

実のおしりに少し青みが残った状態で収穫します。



ハウス栽培のトマトでは、一つの苗から約8ヶ月間も収穫ができて、収穫が終わる頃には茎の長さが5mにもなるんだニヤ!



トマトができるまで (ハウス栽培)



定植(8月下旬~9月下旬)

種から育てた苗や、購入した苗をハウスに定植します。



誘引・芽かき(9月上旬~)

支柱に苗を結んで縦に生長させたり、葉の付け根から出てくるわき芽を摘み取る「芽かき」をします。



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月